

■ 4 - そう思う ■ 3 - どちらかといえばそう思う ■ 2 - どちらかといえばそう思わない ■ 1 - そう思わない

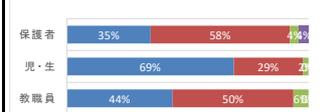
人権同和教育の充実

明るく楽しい学級作り

児童会・生徒会活動の充実

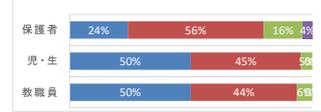
1

子供は、生活の中で友達と認め合ったり、支え合ったりすることができていますか。



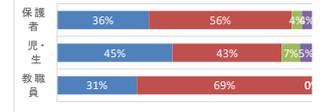
2

子供は、自分の考えを伝えたり、実現するために行動したりすることができていますか。



3

児童会・委員会・生徒会は、活動が充実していると思いますか。



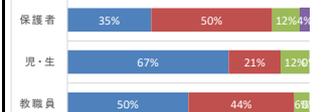
① 児童生徒、保護者、教職員ともに肯定的に感じている。授業や特別活動、日常生活の中で意図的に自他共に大切にすることを育てる取組を継続して進めていく必要がある。
 ② 児童生徒、教職員は同じように感じているが、保護者と意識の差が見られる。それに対して、③から、児童会や生徒会は主体的に活動していると感じていることから、授業中での表現力を高めていくために、授業改善を進めていく必要がある。

道徳教育の充実・心の教育

いじめ・不登校の防止

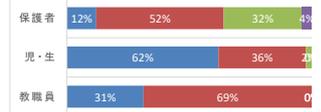
4

子供は、日常生活の中でお互いに意見を出し合い、話し合いをすることができていますか。



5

子供は悩みや困ったことがあったとき、気軽に相談したり、困っている友達に進んで声をかけていますか。

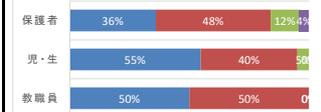


④の道徳教育や⑤のいじめ・不登校の防止について、保護者からの意見に否定的な意見が多い。これは、児童生徒同士の声かけや意見表現が十分でないという意見の表れと考えられる。特に⑤については、保護者からは、もっと、相談体制や児童生徒同士の声かけについて行ってほしいと考えている。今後は、教育相談をさらに充実させたり、児童生徒同士で表現できる場を設けたりしながら、児童生徒が自分の思いを伝えることができるような取組を進めていく必要がある。

確かな学力の育成

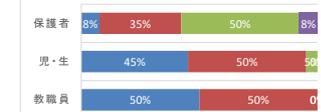
6

子供は、やる気をもって授業を受けることができますか。



7

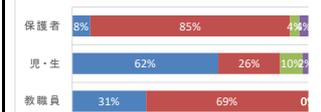
子供は、わからないことがあれば何とか解決しようと粘り強く努力していますか。



⑥⑦⑧意欲的に学習に参加している児童生徒が多く、教職員も同じように捉えている。しかし、保護者は、やる気をもって授業を受けてほしいと15%の保護者が感じていることが分かる。家庭学習の状況から、学習内容を理解できているのかと不安に感じている保護者も多いと考えられる。校内研修で家庭学習の取組の工夫を行うことを継続すること、また、授業の様子等をあらゆる機会を通じて公開していくことを行う。本年度の全国学力学習状況調査では、個人差があったり、基礎基本の定着が十分でなかったりするので、授業改善を職員総体ですすめて、「わかる授業」「みんなで話し合い解決していく授業」「一人一人の子供が主役となる授業」といった主体的、協働的で深い学びを充実させる。また、児童生徒同士の教えあいや教職員への相談しやすい雰囲気や学級経営から行っていくことも必要である。
 ⑨本校の児童生徒は、7割程度がハッピーブック運動を達成している。本を意欲的に読む機会を増やすために、担当が丁寧な計画のもと、図書委員会の取組などでの啓発を行っている。改善として、読む時間の確保や家庭での読書への啓発等が考えられるので、それに向けた取組を継続する。

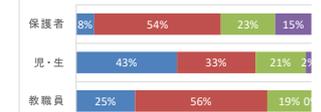
8

子供は、授業の中で、自分の考えをもち、意見交流しながら考えを深めることができますか。



9

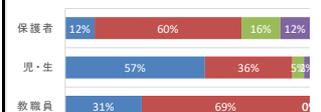
子供は、目標とする冊数をめざして進んで本を読んでいますか。(小12...100 小34...80 小56...60 中...30)



健やかな体の育成

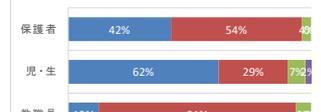
10

子供は、自分の生活習慣や体力の状況を知り、改善しようと努力していますか。



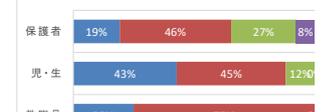
11

子供は、むし歯の予防や治療に心がけていますか。



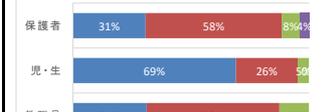
12

子供は、自分自身の食生活について関心があると思いますか。



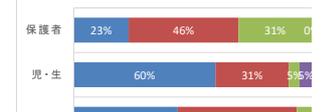
13

子供は、危険を察知し、事故やケガを回避しようとして心がけていますか。



14

子供は、美しい環境づくりに自ら取り組んでいますか。



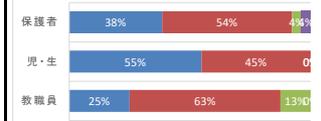
⑩⑪⑫生活習慣、食に関することについて、保護者の意識が否定的である。食生活の改善については、学校、保護者が連携して進める取組を行っていく必要がある。いずみん大作戦等で家庭の啓発を行っているので、引き続き、学校と家庭で連携し、意識の改善の継続を行う必要がある。
 ⑬安全面については、さらに児童生徒が自助できるようにあらゆる場面で指導を継続する。
 ⑭環境面については、保護者の回答が低いことから、学校での状況を共通理解し、ともに児童生徒への声かけを行う必要がある。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえばそう思う ■ 2-どちらかといえばそう思わない ■ 1-そう思わない

地域とともにある学校づくり

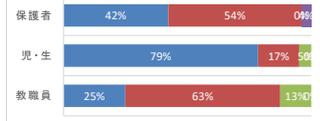
15

子供は、地域の方々に感謝の心をもってあいさつができていますか。



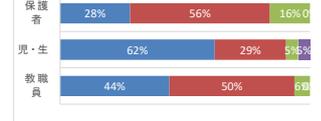
16

子供は、体験活動や交流活動に楽しそうに参加していますか。



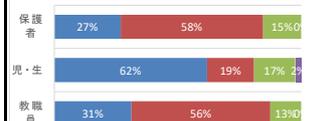
17

子供は、泉町の昔のことや仕事のこと、伝統文化について関心をもっていますか。



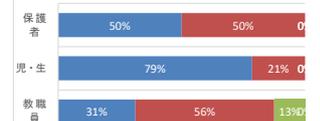
18

子供や学校は、ふるさと泉のよさを知ったり、伝えたりしていますか。



19

子供は、多くの人に見守られて安全に登下校できていますか。

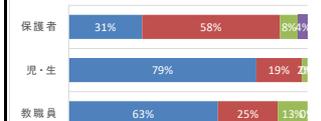


⑮児童生徒、保護者の多くが地域の方への挨拶ができていると感じている。しかし、地域にかえると、なかなかあいさつができない、声が小さいと個人差もあるようなので、朝のあいさつ運動や学校での声かけを、今後も継続していきたい。
⑯児童生徒、保護者とも体験学習や交流活動へ意欲的に参加されている。効果的な体験活動を今後も進めていきたい。
⑰⑱泉町のよさや伝統芸能について関心をもっている児童生徒は9割以上である。体験活動や日常での活動等でより泉のよさを感じることでつながるような取組を行う必要がある。
⑲保護者は安全な登下校について、不安と感じている方もいるので、PTAや地域と協力して何らかの取組を行うことも検討したい。

小中一貫教育の充実

20

学校は、義務教育9年間を見据えた指導を行っていると思いますか。

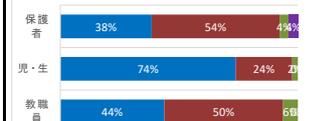


⑳児童生徒は多くの先生方が授業も含めて関わってくれるよさを感じている。小中一貫教育の強みを生かして、児童生徒を小中学校職員全員で見守ることを今後も継続していく。また、学習指導などきめ細やかな学校の体制を引き継ぎ行う。

家庭・地域の連携について

21

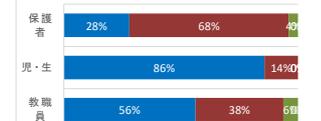
学校は、少人数の子供たちへの効果的な指導を行っていると思いますか。



㉑児童生徒、保護者ともに、9割以上が発達段階に応じた効果的な指導が行われていると感じている。特に児童生徒自身は少人数の効果的な指導を感じている。小中学校職員同士で交流を密にし、児童生徒の実態に応じた学習や取組を今後も継続して続けていく。今後も校内での研修等を工夫し、学校総体で指導力を向上させていく。

22

学校は、小学校・中学校の発達段階を大切にした指導を行っていると思いますか。



自由記述

○少ないながらも仲良く楽しく学校生活を送れていると思います。ただ大勢の中に行くと物怖じすると思うので、以前あった他校との交流授業のような事をして頂く、増やして頂けると嬉しく思います。
○中学生となり、高校進学が近く中で、部活動の試合などでも見受けられますが、やはり大勢の中だと物怖じする傾向にあります。部活動や学校活動において、他校との交流や合同練習などの機会を設けて頂けると嬉しく思います。
○少人数であるが故の利点を活かした教育を行っていただいていると考えていますが、今後、進学した際の多数の学校生活、教室の雰囲気、等の環境の変化が子どもたちにとっては、大人が思うより大きな負担になっていると思います。難しい事だとは思いますが、その対策などもよろしくをお願いします。

下半期の具体的な取り組みについて

- ・ いじめ・不登校防止に基づいた学級作りや児童の居場所がある学級作りを目指して、担任を中心に児童生徒の様子を把握し、全職員で共通理解実践や指導を行うようする。(各学年・児童会生徒会・全校集会活動、掲示教育の充実)
- ・ いじめ・不登校の未然防止のために、より一層充実した教育相談や学習の取組を行う。(心のアンケートや教育相談の充実、SC・SSWの活用推進、八代市教育サポートセンターとの連携)
- ・ 地域から学ぶ学習を広げるために、学校運営協議会や地域協働活動と連携し、泉町のものや人材を生かした体制を広げ、実際の活動へつなげる。
 - ・ 児童生徒理解を深めるとともに、環境意識や規範意識・公德心の高揚に努める。
 - ・ 小研をはじめとした校内研究授業による授業力・指導力の向上と生き方教育の推進に努める。
 - ・ 今後も保護者、安全協会、地域学校安全指導員の方と連携し、児童生徒の登下校の安全のための取組を行う。
 - ・ 日常活動の中で、児童生徒同士が伝えたいことを伝え合える環境にするために、日頃から互いの思いを話したり、聴いたりする場面を増やす。
 - ・ 地域との交流活動や体験活動を増やしていきます。また、他校との交流は芸術鑑賞会を含め設定を検討します。